

活動中止の危機からの復活

これまで歩んできた約3年半の活動の道のりは、決して平坦なものではなかった。プロジェクト開始当初は、養殖のノウハウもなく、投入した稚貝がほぼ全滅してしまうこともあった。さらに、プロジェクト期間の3年が経過した2016年12月の時点では、~~事事仆草就傷むて~~ 活 瀬 厭曳殖